

東京都排出量取引セミナー 【総量削減義務と排出量取引制度 取引価格の参考気配について】

2020年12月2日

株式会社富士通総研

坂野 成俊

sakano.narutosh@fujitsu.com

1. 実施概要

■ 東京都の排出総量削減義務と排出量取引制度における取引価格の参考気配を査定

「査定」とは、市場参加者を対象にしたヒアリング調査によって収集された情報を基に、査定者が「標準的な取引」の価格を推定すること。実際の取引価格の統計ではなく、適正な取引価格を決定するものでもない。

時期	2020年9～10月
対象	<ul style="list-style-type: none"> □ 排出量取引制度のクレジットである超過削減量について、次の<u>18事業者</u>を抽出 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 第二計画期間で超過削減量が見込まれ、第一計画期間からのクレジットのバンキングが多い<u>主な売り手</u>となる事業者：8者 ✓ 第二計画期間で不足量が見込まれ、<u>主な買い手</u>となる事業者：7者 ✓ 売り手と買い手の超過削減量等を仲介する<u>仲介事業者</u>：3者
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> □ 市場概況 □ 取引意向 □ 取引価格 等
査定主体	<ul style="list-style-type: none"> □ 株式会社富士通総研

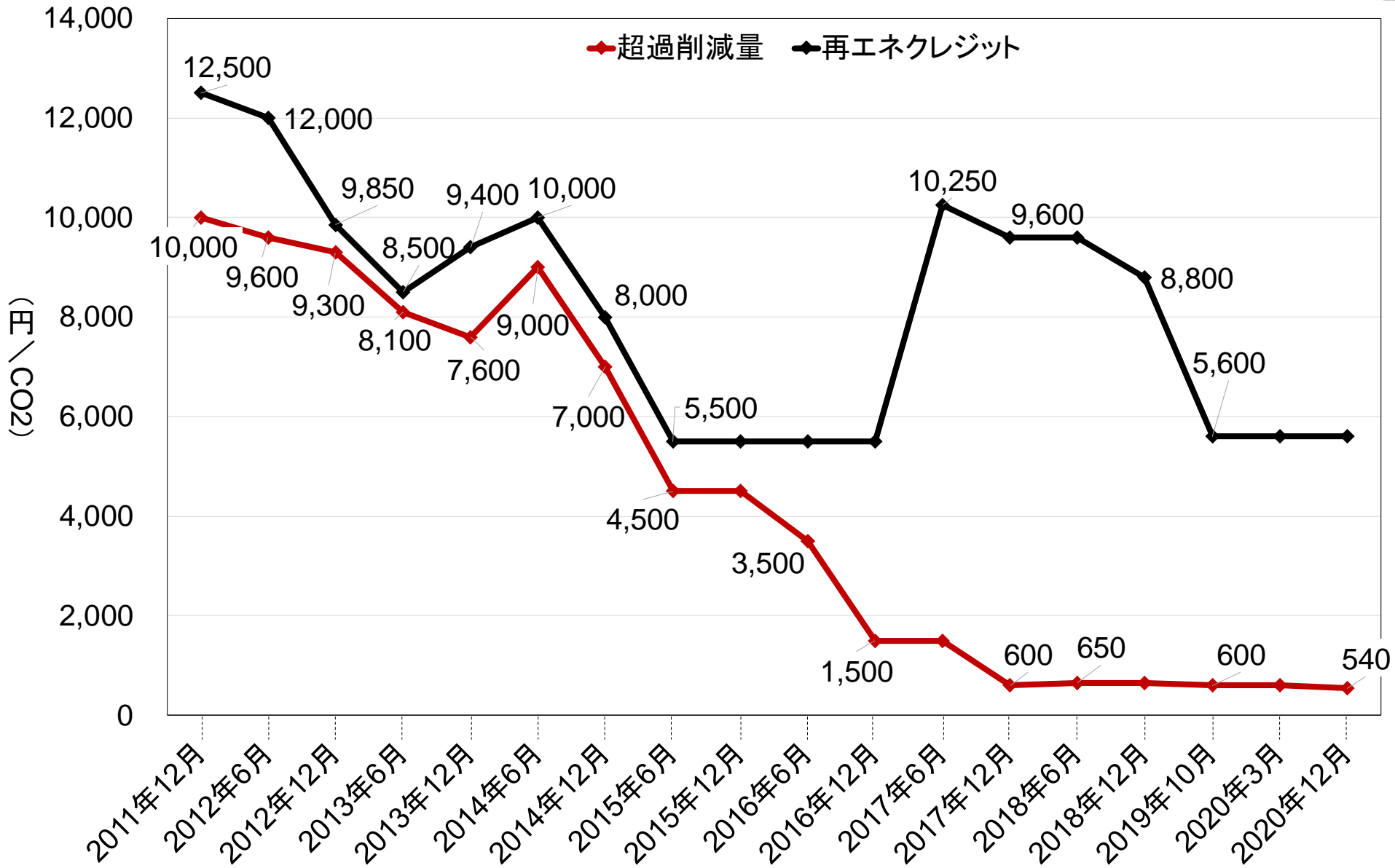
2. 査定結果(2020年12月時点)

クレジット	査定価格	ご参考 (2020年3月時点の査定価格)
超過削減量 (第一計画期間発行)	180～900円／t-CO ₂	200～1,000円／t-CO ₂
再エネクレジット	4,800～6,400円／t-CO ₂	4,800～6,400円／t-CO ₂

■ 留意点

- 実取引における価格は売買当事者が交渉の結果決めるもの。
- ここで示す査定価格は前述の標準的な取引が実施された場合に想定される約定価格の推算値であり、実際の取引価格は、取引形態、特に取引ロットの大小によって、ここで示す推算値と大きく乖離する可能性がある。
- ヒアリングを行った標準的な取引のロットは、500～5,000t-CO₂。
- 再エネクレジットの査定価格は、主にグリーン電力証書の参考価格から推計した。

3. 査定価格の推移



4. ヒアリング調査の結果

■ 売り手の動向

- 第二計画期間で有効期間が切れる第一計画期間の超過削減量を優先して販売
 - 第三計画期間の削減義務率を見据えて、第三計画期間まで有効な第二計画期間の超過削減量はバンキングする傾向

■ 買い手の動向

- 第二計画期間の義務履行状況の見通しが立ち次第、超過削減量の調達を開始
 - 具体的な手続きは、義務履行期限に向けて本格化する見込み

■ 各期の超過削減量の取引の動向

- 第一計画期間の超過削減量は現時点では供給が多く、価格は下がる傾向
- 第二計画期間の超過削減量の取引実績は少ない。第二計画期間の超過削減量は第三計画期間へのバンキングが可能であることから、現時点での取引価格は、第一計画期間の超過削減量の価格を上回る傾向